

第1回定例北見市教育委員会会議録
(平成31年1月9日開催)



(平成31年第1回定例北見市教育委員会風景)

北見市教育委員会

平成 31 年第 1 回定例北見市教育委員会会議録

1. 日 時 平成 31 年 1 月 9 日 (水)
開 会 午後 4 時 00 分
閉 会 午後 4 時 23 分
2. 場 所 北見市端野総合支所 2 階 大会議室
3. 教 育 長 教育長 志 賀 亮 司
出席委員 教育長職務代理者 浪 岡 康 二
委 員 坂 口 廣 典
委 員 那 須 美由紀
委 員 堀 澤 美 貴
4. 出席職員 学校教育部長 伊 藤 智 則
社会教育部長 佐々木 賢 一
学校教育部次長 皆 川 毅
社会教育部次長 塩 浜 浩 二
指導室長 小 野 朋 之
端野教育事務所長 森 谷 幹 生
常呂教育事務所長 須 藤 勇 一
留辺蘂教育事務所長 椎 名 一 美
学校教育部主幹 深 瀬 憲 永
指導室主幹 秋 山 康 則
指導室主幹 尾 島 康 人
総務課長 阿 部 実
学校教育課長 宮 川 真 一
学校給食課長 武 山 晃 己
生涯学習課長 武 田 多 市
スポーツ課長 三 上 剛
文化財課長 平 田 喜代実
北見市中央公民館長 水 野 慎 吾
北見市立中央図書館長 佐 賀 高 広
端野教育事務所生涯学習課長 加 藤 雅 明
常呂教育事務所生涯学習課長 桑 島 直 樹
留辺蘂教育事務所生涯学習課長 大 林 清 司

会議録作成者

大黒谷 朋 一

欠席職員 なし

5. 傍聴者 なし

6. 議 題 報告第1号 平成30年第4回定例北見市議会の経過について

平成 31 年第 1 回定例北見市教育委員会議事録

(平成 31 年 1 月 9 日開催)

教育長 (志賀亮司) 「年頭に際しまして、一言ご挨拶をさせていただきます。
皆様には、健やかに新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、ロコ・ソラーレの銅メダル獲得ということで、北見市が一等高く全国に紹介されました。知名度が大きくアップするなど、カーリングの話題で盛り上がり、ロコ・ソラーレ効果を実感した年だったと思っております。これらのことを、一過性のものとするのではなく、今後の取り組みや事業展開に一層力を注いでまいり所存でありますので、よろしく願いいたします。

教育を取り巻く状況としましては、学校関係では温根湯小学校と温根湯中学校の統合に向けました校舎の改修並びに学校組織の検討、さらにはコミュニティ・スクールの導入や働き方改革、新学習指導要領の完全実施に向けた諸準備等、引き続き様々な課題が山積しているところであります。

また、社会教育におきましては、昨年暮れに中央図書館入館者が、オープンから 3 年間で 100 万人に到達するなど、市の拠点としての重要性を実感したところでもあります。今後も、市民の皆様が豊かな人生を送ることができるような生涯学習社会の実現に向けまして、学習機会の提供を初め、スポーツ、文化の振興のため様々な環境整備に取り組んでいかなければならないと考えております。

今後におきましても、先見性とスピード感を持って、関係部局、関係機関と連携、調整を図り、着実な教育行政の推進に努めてまいり所存であります。引き続き、教育委員の皆様、そして事務局職員、スタッフの皆様にお力添えをお願い申し上げまして、年頭に際しましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。」

教育長 (志賀亮司) 「それでは、ただいまから平成 31 年第 1 回定例北見市教育委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、1 月 1 日付けで事務局職員に人事異動がありましたことから、自己紹介をいたさせます。」

(自己紹介) 北見市中央公民館長

教育長 (志賀亮司) 「それでは、会議を開会いたします。
はじめに、本日の会議録作成者に大黒谷総務係長を指名いたします。
次に、前回の委員会会議録に記載した事項に関して、特に発言がありましたらお願いいたします。」

委員 「ありません。」

教育長 (志賀亮司) 「なしとの発言でありますので、会議録は作成のとおり決定いたします。
次に、本日の会議録署名委員を指名いたします。署名委員には、坂口委員、那須委員の両名を指名いたします。
次に、教育行政について報告を求めます。なお、説明、答弁については着席のままでの発言を許します。」

学校教育部長 (伊藤智則) (学校教育行政執行報告)

社会教育部長 (佐々木賢一) (社会教育行政執行報告)

教育長 (志賀亮司) 「ただいま報告のありました教育行政に対し、ご質疑があれば発言願います。ご質疑ございませんか。」

委員 (那須美由紀) 「学校教育部の報告の中で、12月27日のいじめのないまちづくり子ども会議の件なのですけれども、今年度から小学生が参加したということで、もう少し詳しくそのときの子どもたちの様子をお聞かせ願いたいと思います。」

指導室主幹 (尾島康人) 「ただいま那須委員からご質問のありました、いじめのないまちづくり子ども会議についてであります。小学生10名が参加して、前半は中学生と一緒にグループ討議に参加し、中学生の討議の様子を、一緒に中に入って実際に感じていただいて、その後会場をかえて小学生だけのグループ討議を行うというやり方で行いました。小学生も、非常に積極的に討議に参加しておりまして、後で書いていただいた感想の中では、中学生と一緒に討議して自分の意見をより深めることができた、新たな考えが出てきたことが良かったなどという感想をいただいております。参加した小学生も、いじめの根絶に向けた意識が高まった非常に良い機会になったと感じております。」

来年度は、小学校と中学校の会場を分けながら開催していきたいと考えており、小学生の参加もふやしていきたいと考えております。

以上でございます。」

教育長 (志賀亮司) 「ほかにご質疑ございませんか。」

委員 「ありません。」

教育長 (志賀亮司) 「質疑が了しましたので、以上で教育行政についての報告を了します。それでは、本日提案されております報告第1号、平成30年第4回定例北見市議会の経過について報告願います。」

学校教育部長 (伊藤智則) 「それでは、報告第1号、平成30年第4回定例北見市議会の経過についてをご説明いたします。議案書では1ページですが、お手元の資料、平成30年第4回定例北見市議会における教育関係の質疑概要により報告させていただきます。

本会議では、代表質問で絆・新しい風倶楽部中崎議員、市民・連合クラブ浦西議員、市政クラブ鏈水議員の3名から質問がありました。また、一般質問では市民・連合クラブ轡田議員ほか4名の方から質問がありました。代表質問につきまして、その内容をご報告させていただきます。

初めに、1ページ、絆・新しい風倶楽部中崎議員から、カーリングの振興について、①、市長の身边でオリンピック以降どのような変化があったのか、また②、ロコ・ソラーレ効果の数値について、さらに③、新しいカーリング場建設についての考えを伺うとの3点のご質問がありました。市長から、全国各地からチームに対する祝福の手紙やメールなどが数多く寄せられ、メディア取材も相当数お受けしました。また、市外での会合や出張先等では、行く先々でロコ・ソラーレの話題でお声を掛けられることも多く、チームの活躍と人気によって本市の知名度が劇的にアップしたことを実感しているところであります。また、2点目のロコ・ソラーレ効果については、ふるさと納税ではオリンピック開催後の平成30年2月から11月まで17,934件、2億9,140万5,431円となっており、平成29年同時期と比較すると件数で約2.2倍、寄附額で約2.1倍となっており、アドヴィックス常呂カーリングホールでは、平成29年同時期と比較すると施設利用者で約1.1倍、見学者で約2.5倍となっております。また、数字で表せ

ない経済効果ですが、本市の特産品に注目が集まっており、特にチーズケーキやカーリングを題材にしたクッキーなどは、道内外から注文が殺到しているほか、全国の百貨店から秋の物産展等への問い合わせが急増したところであります。いずれの場合も、ロコ・ソラーレ効果が大きな要因であると考えております。さらに、3点目のカーリング場建設については、2ページになりますが、銅メダル獲得を契機として、カーリングを応援する人々がふえており、ジュニアの育成などカーリング人気を一過性のものにならないために、既存の2つのカーリング場を最大限に活用したソフト事業展開に力を注ぐ考えであります。施設整備については、常呂カーリングホールは市営の施設として建設の際、建設場所や規模についてカーリング協会などと協議の上、決定した経緯があります。一方、河西建設カーリングホールは民間所有の施設であり、設備も老朽化してきている状況にあります。カーリング人気の進む中で、北見市のカーリング施設のあり方については大きな課題ととらえておりますと答弁がなされました。これに関連いたしまして、同議員から、新カーリング場を含め、カーリング少年少女の夢を壊さないための考えを伺うとの再質問がございました。市長から、世界レベルにある北見のカーリング技術を維持し、さらに技術を高めながら世界で戦うためには、人材の養成、次代のロコ・ソラーレとなるジュニアの育成が急務となっております。そのためには、技術力を高めるための少年団の活動や幼少の頃からカーリングに親しむことが必要であり、北見カーリング協会では少年団を結成するとともに、ロコ・ソラーレは新たな育成チームを立ち上げました。市では、ジュニアアスリートチャレンジの新種目として、今季からカーリングを取り入れ、次年度の事業において、小中学校冬季体育授業での採用を推進する環境づくりなどを検討しているところでありますと答弁がなされました。

次に、3ページ、市民・連合クラブ浦西議員から、カーリングのまち宣言を通して、地域振興に生かす考えはないかのご質問がありました。市長から、ロコ・ソラーレの快挙は本市の知名度とカーリングのまちとしての認知度を大いに高め、今般の新語・流行語大賞受賞によって、再び多くの人々の記憶に深く刻み込まれることになりました。市としては、この好機を生かし、さらにカーリングをまちづくりと地域振興につなげてまいりたいと考えております。引き続き、カーリングの聖地としての優位性を発信しながら、都市宣言について

は今後の検討課題とさせていただきますと答弁がなされました。

また、同議員から、健康日本 21 の取り組みについて、地域格差をなくした健康推進、環境整備を進める必要があるが、これまでの認識と今後について伺う、また報道でプールのトレーニング室の通年利用を望む声があったが、指定管理の内容変更など通年利用の実現に向けた考えを伺うとの2点のご質問がありました。教育長から、現在、3自治区における運動施設のトレーニング機器整備につきましては、十分な状況にありませんが、各世代の市民が日常的に運動を取り入れることが求められており、自治区住民のニーズを見極めながら検討してまいりたいと考えております。また、2点目の通年利用については、今年度新たな指定管理者が自主事業としてプールのロビー内に自己所有のトレーニング機器を搬入し、施設の利用促進に向けた取り組みを進め、プール利用者の増加につながった一つの要因と認識しているところでありますが、トレーニング機器利用のみの通年開館は、維持管理経費増の課題もあることから、今後指定管理者と事業実施の可能性について協議を行ってまいりたいと考えておりますと答弁がなされました。

さらに、同議員から、4ページとなりますが、インクルーシブ教育に関して、これまでの特別支援教育の指針の取り組みをどう評価し、これからの方向性の考え方について見解を、また指針の改定もすべきと思うが見解を伺うのご質問がありました。教育長から、インクルーシブ教育は共生社会形成に向けて障がいのある子どもが障がいのない子どもとともに教育を受けることを追求し、個別の教育的ニーズのある子どもたちに対して、自立と社会参加を見据え、その時点で最も確かな指導を提供できる多様で柔軟な仕組みを整備することでであると認識しております。本市はこれまで、北見市特別支援教育の指針に基づき、一貫した支援を行うための関係機関との連携強化、小・中学校における体制の充実などを着実に進めてまいりました。これらの取り組みにより、早期からの教育相談や支援が可能となり、通常の学級、通級による指導、特別支援学級といった連続性のある多様な学びの場において子どもたちがともに学ぶ教育活動の推進を図っております。今後におきましても、インクルーシブ教育の理念を踏まえ、学校と地域が連携し、障がい者理解や相互理解がいつそう進められるよう努めてまいりたいと考えております。また、現指針は策定から5年が経過し、特別支援教育を取り巻く社会状況も大きく変化して

おり、現状や課題を明らかにし、同指針並びに北見市特別支援教育の手引きの見直しを検討してまいりますと答弁がなされました。これに関連いたしまして、5ページとなりますが、同議員から、コミュニティ・スクールの導入に当たり、インクルーシブ教育という視点も視野に入れるべきと考えるが見解を伺う、また東京大学と連携して実践している自治体もあるが、連携をしていく考えはないかとの再質問がありました。教育長から、インクルーシブ教育の推進に当たっては、障がいのある子どもと地域住民や保護者との相互理解が得られていることが重要であると考えております。コミュニティ・スクール制度において、地域とともにある学校づくりを進めるに際しても、障がいのある子どもへの対応も念頭に置き、特別支援教育を学校経営の柱の一つとして、地域の理解と協力を得ながら連携して取り組んでいく必要があると考えております。また、本市におきましては、現在北海道立特別支援教育センターや北見支援学校等と連携し、インクルーシブ教育を推進しているところであります。今後においても、東京大学大学院教育学研究科と大阪市立大空小学校の協定による、共に学ぶ教育の研究事例等を注視しながら、本市にとってのよりよい教育システムの構築と大学やその他の関係機関との連携について調査・研究してまいりたいと考えておりますと答弁がなされました。

次に、市政クラブ鎌水議員から、カーリングのまち北見に向けて、市民が親しみをもって使える市民カーリングホールの建設を進める考えがないかのご質問がありました。市長から答弁をいたしました。市長から答弁をいたしました中崎議員への答弁と同様の内容でございますので、説明は割愛させていただきます。

以上が、代表質問に対する答弁内容でございます。市民・連合クラブ轡田議員ほか、一般質問につきましては、お手元の資料をご一読いただければと思います。

以上で、報告第1号の説明を終わらせていただきます。」

教育長 (志賀亮司) 「ただいまの報告に対し、ご質疑があれば発言願います。ご質疑ございませんか。」

委員 「ありません。」

教育長 (志賀亮司) 「なしとの発言ですので、報告を了します。
以上で、本日付議された案件は全て議了いたしました。事務局より、その他の報告事項があれば発言願います。」

事務局 「ありません。」

教育長 「なければ、これにて平成 31 年第 1 回定例北見市教育委員会を閉会
(志賀亮司) いたします。」